

施策番号	0903		
施策名	国際MICE都市～国際会議，企業研修旅行，イベント等による国際集客都市～への飛躍		
概要	MICEの誘致・振興は，京都ブランド・都市格の向上，市民生活の活性化，経済効果など，社会的及び経済的両面において京都の都市活力を支え，向上させるものであるとともに，京都観光の質の向上に寄与することが期待され，都市戦略として全市を挙げてMICEの誘致・振興に取り組む。		
担当局・部室	産業観光局・観光MICE推進室	共管局・部室	
上位政策	9 観光		
施策に関する主な分野別計画等	京都市MICE戦略2020		

## 施策の評価

### 1 客観指標評価

指標名		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	コンベンション開催件数の世界順位(位)	a	a	50	41	40	97.5%	a	1.00
2	コンベンション参加者数(人)	a	c	140,253	157,300	202,996	77.5%	c	1.00
3	コンベンション外国人参加者比率の国内順位(位)	a	e	5	2	1	-	b	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	c	客観指標総合評価				b	

### 2 市民生活実感評価 \*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度回答						有効回答 者数	評価
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない			
1	京都は、国際会議などが盛んに開かれるMICE（企業のミーティング、企業研修旅行、国際会議、イベントなどの総称）都市になってきている。	b	b	74	252	224	51	20	621	b	
				11.9%	40.6%	36.1%	8.2%	3.2%			
2	-	-	-							-	
3	-	-	-							-	
4	-	-	-							-	
5	-	-	-							-	
		b	b	市民生活実感調査総合評価						b	

### 3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	b	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	b		
<b>(重み付けの理由)</b> 観光客だけでなく市民にとっても満足度の高い観光振興を図ることを目的としており、市民生活実感評価を重視して評価することが妥当であると考えため						平成30年度	B
<b>(原因分析) 客観指標総合評価</b> <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
<b>(原因分析) 市民生活実感調査総合評価</b> <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。						平成29年度	B

#### 今後の方向性の検討

#### <この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	国立京都国際会館・多目的ホールへの京都らしい設えの実施と2,500人規模から5,000人規模への拡充整備の促進	140,872	6,345	—	総合企画局
2	コンベンション等MICE推進事業	87,866	148,417	良い	産業観光局
3	観光と文化をテーマとした国際会議 第4回京都会議(仮称)の開催	0	54,258	—	産業観光局
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

#### <今後の方向性>

・「京都市MICE戦略2020」に基づき、京都文化交流コンベンションビューローと連携のうえ、京都の多様な魅力を活用しながら、開催支援メニューの充実、産学公連携の強化、伝統産業製品の貸出制度など、主催者が京都を選択しやすい環境を整えることで、京都にふさわしいMICE誘致の強化を図る。

施策名	0903	国際MICE都市～国際会議、企業研修旅行、イベント等による国際集客都市～への飛躍				
指標名	コンベンション開催件数の世界順位（位）					
担当課	観光MICE推進室		連絡先	7 4 6 － 2 2 5 5		
1 指標の説明						
1年間に京都市域内で開催された会議で、3箇国以上での持ち回りの開催実績があり、総勢50名以上の参加者総数、かつ定期的に開催している国際会議件数の世界順位						
2 指標の意味						
経済、文化、国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：国際会議協会（ICCA）「国際会議開催統計」						
4 数値						
	前回数値 平成29年	最新数値 平成30年	推移	単年度目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	50	41	9位上昇	40	平成25年実績（55位）と令和2年目標値から各年度の目標を等差的に設定（年2.86順位上昇）	97.5%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	41位 （世界）	35	令和2年	82.9%	京都市MICE戦略2020	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満						
6 基準説明						
当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高いことや景気動向にも影響を受けるため、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
	平成29	平成30	令和元			
	a	a	a			

指標名	コンベンション参加者数（人）					
担当課	観光MICE推進室		連絡先	7 4 6 － 2 2 5 5		
1 指標の説明						
1年間に京都市域内で開催された会議で、日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議に参加した人数						
2 指標の意味						
経済、文化、国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：京都文化交流コンベンションビューロー「京都開催の国際会議」、日本政府観光局（JNTO）「国際会議統計」						
4 数値						
	前回数値 平成29年	最新数値 平成30年	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	140,253	157,300	17,047人増	202,996	過去5年間の最高値	77.5%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新の数値が過去5年間の a：最高以上 b：上中間値（最高値と平均値の中間値）以上～最高値未満 c：平均値以上～上中間値未満 d：下中間値（平均値と最低地の中間値）以上～平均値未満 e：下中間値未満						
6 基準説明						
各年度の具体的な数値目標の設定が困難であるため、過去5年間の数値の推移で評価する。  最高値 202,996人（平成28年） 上中間値 173,563人 平均値 144,129人 最低値 96,020人（平成25年）						
7 評価結果						
	平成29	平成30	令和元			
	a	c	c			

施策名	0903	国際MICE都市～国際会議，企業研修旅行，イベント等による国際集客都市～への飛躍				
指標名	コンベンション外国人参加者比率の国内順位（位）					
担当課	観光MICE推進室		連絡先	7 4 6－2 2 5 5		
1 指標の説明						
1年間に京都市域内で開催された会議で，日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議に参加した外国人比率の国内主要都市（グローバルMICE戦略都市及び強化都市7都市）順位1位の堅持						
2 指標の意味						
経済，文化，国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：日本政府観光局（J N T O）「国際会議統計」						
4 数値						
	前回数値 平成28年	最新数値 平成29年	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	5	2	3位上昇	1	国内主要都市順位1位の堅持	－
	全国順位	中長期目標				
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	2	1	令和2年度	－	京都市MICE戦略2 0 2 0	
5 評価基準						
最新数値が a：1位 b：2位 c：3位 d：4位 e：5位以下			当該指標については，民間部門の寄与度が比較的高く，景気動向にも影響を受けるものの，目標を上回ることとは不可能ではないため，1位をaとし，以下， bを2位 cを3位 dを4位 eを5位以下とする。			
6 基準説明						
7 評価結果						
平成29	平成30	令和元				
a	e	b				